

神宮寺

元禄中

元禄十六年未十二月矢澤百姓廣忠元禄
をお手としてけ山の境を論じて江戸へ出
訴矢澤方山上薬師堂の建所生理郡の内之
といふ廣忠元禄は海山ハ大相忘神社にて
飽海郡に移産の義由申は明白なり被而建
する所飽海郡は終る一と云ふ矢澤方中ハ
大相忘神社ハ一と云ふ一にて同郡の内吹浦村
はありて先代より神を奉養家より一と云と

書くも後小波郡へ引來れりといふ廣忠方
ハ吹浦村大相忘神社ハ海山より勧誘の
地として海山ハ本社なりと依之室永元中
年江戸より市檢使を遣はされ吹浦村の社
家古家小波郡ありけり海山薬師堂建
する所ハ飽海郡にて始ハ大相忘神社ハ
移産の地なりその後吹浦村は移一と云乃
額号吹浦村として終る來り遷幸の記は安
永志くも薬師堂ハ海山上はありて廣忠
吹浦表になりといはんは何の障あらんや